



人口と世帯



●住民基本台帳記録数(前月比)	
人口	185,404 (+88)
男	91,878 (+34)
女	93,526 (+54)
世帯	95,570 (+127)

令和4年
7月1日現在

歴史を学ぶ…歴史から学ぶ…

立川ゆかりの日本画家 村田丹陵を学ぶ会



大政奉還図の前の村田丹陵(右端、『徳川おてんば姫』東京キララ社刊より)

「大政奉還」(聖徳記念絵画館蔵)を砂川村で描いた歴史画家・村田丹陵について学びます時9月23日(金・祝)午前11時～正午場たましんRISURUホール会議室定20人(抽選)申8月19日(金)[必着]までに、「丹陵を学ぶ会希望」、応募者全員の住所・氏名(ふりがな。代表者に○印)・電話番号を、はがき、ファクス、Eメールで立川市地域文化振興財団(〒190-0022錦町3-3-20) ☎(526)1312 Fax(525)

6581 e bijyutsu@tachikawa-chiikibunka.or.jp

古事記を読もう★

古代の「心と言葉」を読み解きます。シリーズ最終回は、仲哀天皇、応神天皇、仁徳天皇のお話です時8月24日・31日、9月7日の水曜日、午後2時～4時(全3回)場女性総合センター師國學院大學兼任講師・伊藤高雄さん費1,500円(受講料)定30人(申込順)申7月25日(月)



から生涯学習推進センター ☎(528)6872

★マークはたちかわ☆きらきらカード対象の「市民企画講座」です。
♥マークは郷土の理解を深める講座などを行う「立川市民科」です。

日本の伝統宗教の歴史から 現在を見つめる

天皇家と伊勢神宮の宗教史、江戸時代の宗教、明治時代から現代の宗教を学びます時9月3日・10日・17日の土曜日、午後1時30分～3時30分(全3回)場幸学習館師秘境添乗員・金子貴一さん定30人(申込順)申7月26日(火)から幸学習館 ☎(534)3076



地域の再発見・地元を学ぼう! 玉川上水の謎

わずか9か月間で玉川兄弟によって作られた玉川上水の謎を学びます。初回は座学、あとの2回は玉川上水沿いの散策です時8月28日、10月9日・30日の日曜日、午後1時30分～3時30分(2回目は午前10時～午後3時。全3回)場西砂学習館ほか師立川民俗の会会長・豊泉喜一さん定30人(申込順)保若干名(1歳～学齢前。初回のみ)持昼食(2回目のみ)申7月27日(水)から

西砂学習館 ☎(531)0431

企画展 「立川の遺跡2022」♥

昨年度の遺跡発掘調査の成果を報告するとともに、昭和29年、46年、47年の大和田遺跡(柴崎町)発掘調査の出土品や調査の写真・映像を初公開します。直接会場へ時7月26日(火)～9月4日(日)、午前9時～午後4時30分(月曜日を除く)場歴史民俗資料館師歴史民俗資料館 ☎(525)0860



平和都市宣言30年 「夏のロードショー」

時▷8月5日(金)午後1時～2時=「生きてよかった」▷8月5日(金)午後2時～3時22分=「世界は恐怖する～死の灰の正体」▷8月6日(土)午前10時～午後0時10分=「母と暮せば」場柴崎学習館定各50人(申込順)申7月26日(火)から希望する日時、氏名、連絡先を、電話、またはEメールで柴崎学習館 ☎(524)2773 e

shibasakigakusyukan@city.tachikawa.lg.jp



人形浄瑠璃

「笹子追分人形芝居」を観る★

笹子村に人形浄瑠璃が伝わって約300年。古典の名作を鑑賞し、地域伝統芸能についてお話を聞きます。出演は笹子追分人形保存会、三味線・義太夫の皆さん時9月4日(日)午後2時～4時場女性総合センター定70人(申込順)保若干名(1歳～学齢前)申7月25日(月)から生涯学習推進センター ☎(528)6872



《広告欄》